



Department of Environmental and Preventive Medicine
Graduate School of Medical Science
Kanazawa University

Yuri Hibino

Kakuma-machi, Kanazawa-shi 920-1192, Japan
PHONE:076-234-4665, FAX:076-264-6435

「生殖補助技術に対するご意見および不妊治療経験をもつ養親希望者の
実態に関するアンケート」
ご協力のお礼

貴下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

2013年8月、貴施設に対し回答をお願い致しました標題調査につきまして、ご多忙にもかかわらず調査にご協力いただきまことにありがとうございました。

この度、調査は無事終了し、多くの児童福祉関係機関の皆さまからご回答をいただくことが出来ましたことを、ご報告させていただきます。お忙しい中ご協力いただいた児童福祉関係者の方々に対し、厚く御礼申し上げます。

現在児童福祉機関に携わられている方々が、生殖補助技術についてどのようにお考えになり、不妊治療経験者が養親候補者となることについて、我が国においてどのような実態や課題があるか、率直にご回答いただいたことを広く社会に知らせるため、今後、ホームページ上にて報告書を公表するとともに、関係各所をはじめ、報道関係者にもプレスリリースを送付いたします。

今回の調査実績

配布数: 全国の児童福祉関係機関 1,158 箇所(住所不定 12 箇所、受取拒否 1 箇所を除く)

回収数: 281 票(うち無効票 6 票)

有効回収数: 275 票(回収率 23.9 %)

ご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

2013年 9月吉日

内閣府 最先端・次世代研究開発支援プログラム「グローバル化による生殖技術の市場化と生殖ツーリズム」

研究代表者: 日比野由利

研究協力者: 野辺陽子(神奈川県立保健福祉大学・東京歯科大学)

金沢大学医薬保健研究域医学系 環境生態医学・公衆衛生学

920-1192 金沢市角間町金沢大学角間南地区自然科学3号館5階

Tel & FAX: 076-265-6435